

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

## ● 林野庁長官講演会を開催しました

令和8年1月20日（火）にホテルグランヴェール岐山にて、小坂善太郎林野庁長官講演会を開催いたしました。

当日は、コンソーシアム会員の皆さまのほか、岐阜県議会林業活性化促進議員連盟の皆さまにもご参加いただき、多くの林業・木材関連産業の関係者にご来場いただきました。

涌井理事長は開会の挨拶で、参加者への謝辞を述べたうえで、今回の講演を通じて得た知見をそれぞれの地域や組織の活動に活かし、森林のもつ経済的・公益的機能の両面をどのように発揮させていくかについて、今後とも取り組みを進めてほしいと呼びかけました。

また、岐阜県を代表して江崎知事は、小坂長官への来県に対する謝意を述べるとともに、今回の講演が参加者に新たな視点や力をもたらすことを期待していると述べられました。また、コンソーシアムの計画や国の取り組みに対して県として協力していく意向を示し、感謝と歓迎のご挨拶をいただきました。

小坂長官からは「森林・木材の持続的循環利用に向けて」をテーマに、国内の森林・木材を取り巻く課題や状況、それらを解決するために行われている研究や実証事業等の取り組み事例を川上から川下まで幅広くお話いただきました。また、質疑応答では知事自ら、国の施策についてご質問されました。

小坂長官のご講演で示された施策の方向性を踏まえたうえで、産学官連携強化を図り、地域の森林・木材産業の発展に寄与する取り組みを引き続き推進してまいります。



○涌井理事長



○江崎知事



○小坂林野庁長官



○質疑応答の様子

## ● リスクアセスメント×現場意見交換会（森林整備・育成委員会）

去る令和7年11月14日（金）に関市内にて、「リスクアセスメント×現場意見交換会」を開催いたしました。

昨年に続き、講師として、森林ヒューマン・ファクター（FHF）研究所（<sup>やまだようぞう</sup>山田容三所長をお招きしました。

はじめ、山田所長より、リスクアセスメントに必要な危険源の洗い出し方法の説明があり、その後、現場で実際に危険源の洗い出しを行いました。危険源は大きく2種類に分けられます。1つ目は、崖や足場の悪い場所、急斜面など、現場に内在する危険源です。2つ目は、ヘルメットの未着用や危険な重機の操作など、作業によって発生する危険源です。そのため、危険源の洗い出しは、作業前の現場と作業中の現場の双方で行いました。現場で挙げた意見はグループごとにリスク評価し、発表しました。

参加者からは

- ・講義でリスクアセスメントについて知るだけでなく、実際に現場に出て実践できて良かった。
- ・現場研修もセットで行われたため理解が深まった。参加した技術者の方から現場の状況のお話が聞けたので良かった。

等の意見が挙がりました。

当コンソーシアムでは引き続き、林業労働災害に関する研修・勉強会を行い、災害の撲滅を目指していきます。



講師：山田容三 氏（FHF 研究所 所長）



危険源の洗い出しの様子



意見交換の様子

---

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

---

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）

〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529

E-Mail: [gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp](mailto:gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp)